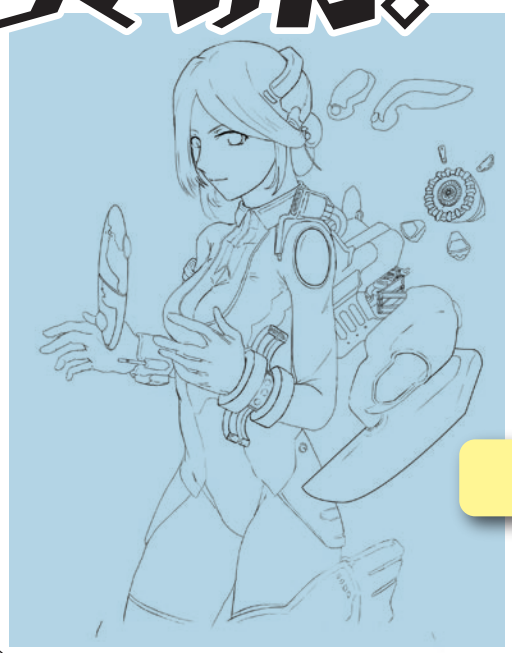
線画をもらって塗ってみた。

第3回　線画：Taro Brommer　塗り：心海



綺麗な白が出す清潔感がすごく好きです！
黒や背景とのコントラストも相まって素敵だと思います。
デザインに試行錯誤したキャラなので、こんな綺麗に仕上がってくれて嬉しいです。

── 線画・Taro Brommer

「このコーナーは、誰かに描いてもらった線画に千住工房のスタッフが着色して完成させるコラボの企画です」
In this corner, our staff will be coloring line art done by someone else to create a collaborative art work.

東京足立 千住工房通信

株式会社千住工房
東京都足立区南花畑3-35-1
グリーンパーク花畑 VI-507
電話（03）3859-2720
お問い合せは
info@senjukobo.co.jp
www.senjukobo.co.jp

～ししゃもの南蛮漬け～ Liquor and Snack

『材料』
ししゃも…10尾位
白髪ネギ…適量

<たれ>
砂糖…大さじ2　醤油…大さじ2
酢…大さじ3　水…大さじ3
塩…少々　ごま油…適量
鷹の爪‥適量

①たれの材料を鍋に入れて、ひと煮立ちさせておく。
②ししゃもを焼く。
③焼けたししゃもを①のたれにつける。
④器に盛り、白髪ネギを乗せる。

日々、どうしても肉料理がメインの食卓になることが多いので、たまにはお魚も食べなきゃ、と思った時に作ります。
ししゃもは、クッキングペーパーを敷いたフライパンで焼くと、皮がボロボロになったりしないできれいに焼けますね。

この料理は、焼酎かな。
昔どっかで飲んだサトウキビの焼酎がおいしかったな～。（銘柄不明;）

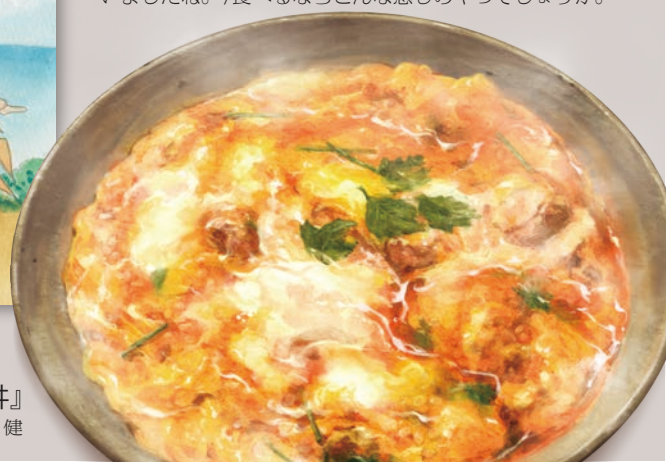
文と絵・小林 雅代

SENJU KOBO GALLERY

▶『GEKO』
絵・杉本 明聡

今回はメカをごちゃごちゃさせない事に重点を置きながら描きました。どうでしょうか？
僕自身はごちゃごちゃしてる方が好きなんですが…苦笑

埼玉に住んでいたときレトルトの親子丼をかなりの頻度で食べてました。卵はなんでも美味しくさせてしまうと当時は思いましたね。今食べるならこんな感じのやつでしょうか。



▶『親子丼』
絵・藤野 健

アイスクリームのお店 あおぞら

千住工房では、今回の「出張あおぞら」に合わせて名刺のデザインさせていただきました。

アイスクリームのお店「あおぞら」。3/7～9の 3日間は、千葉県柏市にある器の店「萬器」に出張してアイスクリームを作っていました。
写真が「萬器スペシャル」のアイス。器が今回の展示会で出品されている作家さん（中里花子さん）のものです。

東京都足立区六町 4-5-38
Tel.03-5856-4458

床の上のゴル

渡辺由利子

第8回 歌川国芳 ―奇想の画家そして鉄火の浮世絵師―

こんにちは。阿部遥です。今月ご紹介するのは歌川国芳絵師です。

歌川国芳について

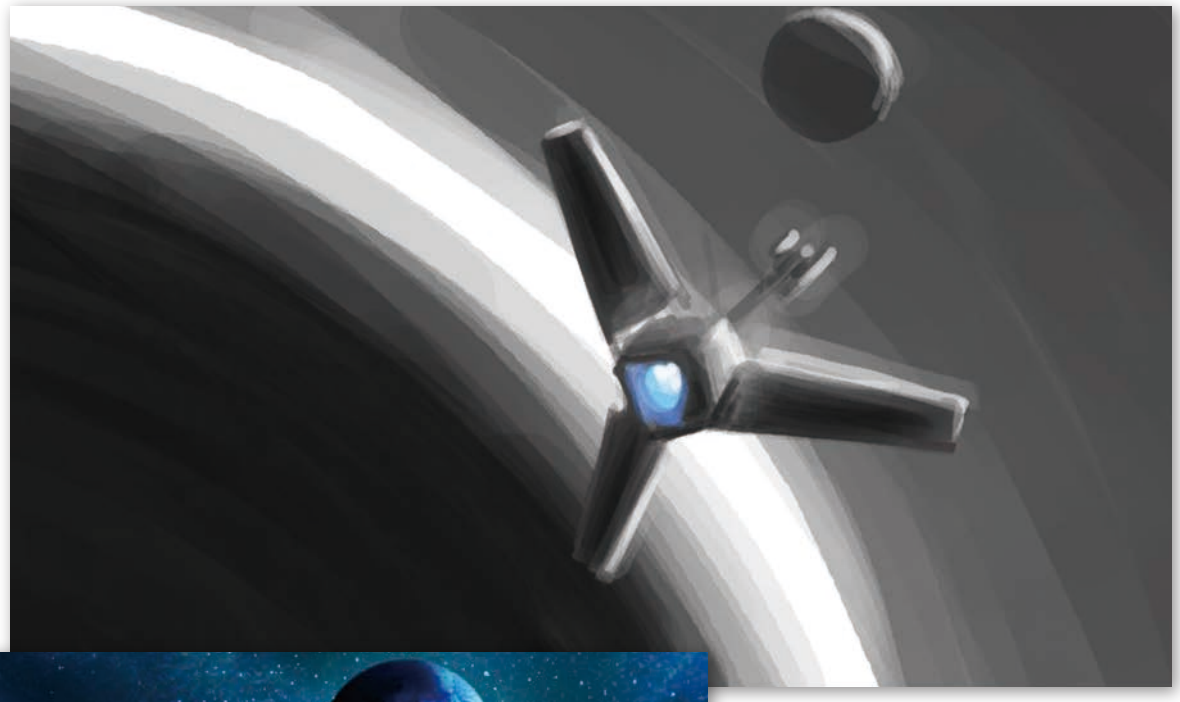
歌川国芳は呼び名が多く、タイトルの奇想の画家、鉄火の浮世絵師の他に幕末のはみ出し浮世絵師、江戸のポップ・アーティスト、江戸末期の劇画家と様々な名で呼ばれています。

歌川国芳の魅力

彼もまた美人画、役者絵と多彩に色々なジャンルの絵を描いています。まず、役者絵では国芳自身、得手ではないと感じつつも肖似性をとことん追求し追真力がとても高いです。美人画では小粋で庶民性あふれる女性像を描き、ちょっとあかぬけているがとびきり目立つわけではない。そんな町の女性のおおらかな生きようを親近感込めて描くところに持ち味を発揮し、自己の様式を築き上げています。
次に風景画では三つの特質があります。一つ目は視座が安定しているところです。国芳の視点は常に画面の手前に描かれる人物たちの目の高さにあります。地平線の高さは作品によって異なりますがそれにより見た目の安定感は抜群になります。二つ目は手前に描かれる人物の扱い方です。極端なアップや遠望はあまりなく多くは程よい大きさなのが特徴です。そして三つ目は空の描き方です。月を印象的に描いていて、とりわけ雲の描き方には気を配っています。様々な雲の表現は時として異次元の幻想的な空間を作り出すそうです。
私は、国芳はとても観察力が高いのだなと思いました。特に風景画では水の表現も研究して描き分けていることから普段は目に見えないものを見えるようにしているという、どこまでも先へ先へと見つめて絵を描いているのだなととても尊敬しました。

文・阿部 遥

進む日米合作プロジェクト



いつもお仕事は知り合いの方からの紹介などで、お話をいただいて、一度お付き合いさせていただくと「また次も」とお声掛けしていただけている・・・という幸せな状況にいる千住工房です。

そんな私達ですが、ちょっと歯がゆく思っていることがあります。

それは、クライアント様に「今度、こういうお仕事を頼みたいんだけど、どうかな？」と言われた時に「あ、それ面白そうです。やりたいです。」と答えるのは簡単なのですが、過去に似たような作風をやっていたりしても、版権の関係上なかなかその絵をお見せできないということです。

日々、目の前のお仕事に邁進しているのですが、ふと気が付くと自分のオリジナルの絵を全く描いていない事に気が付きました。

そこで、今年から計画を立て、8月を目安に短い映像を作ることにしました。

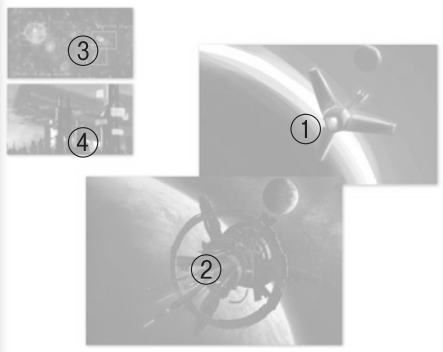
今後はアメリカからもお仕事を取りたいので、敢えて演出家はハワイ在住のジャレッド、そして、弊社のホープ、藤野君にタッグを組んでもらい（もちろん通訳はお馴染みの太郎）というチームで背景画中心のショートムービーを作り始めています。

今回はせっかくジャレッドが演出をやってくれるので、アメリカ式で作りたいと思い、そのようにやっています。

3月～5月までは背景彩色作業期間、その後、8月頭まで編集や音入などやっていく予定です。8月15日には完成、8月22日には初号、その後、その映像をデモリールとして持参しながらアメリカの会社で私達の絵に興味を持ってくれる人達に会えれば嬉しいな、と思っています。

絵を描いてくれている藤野君はいつもは食べ物の絵をこの新聞に寄せてくれていますが、なんだか、彼は楽しそうにこのショートムービーを作っています。

今回はそのラフスケッチをいくつか載せたいと思います。



① ジャレッドによるラフスケッチ
② ジャレッドのラフを元に藤野健が描いた清書
③ ジャレッドがカメラワークを決めたラフスケッチ
④ 社内でも評判が良かった藤野健によるラフスケッチ。ジャレッドも気に入って本編で使用予定。

アメリカ支部だより

SENJU KOBO

ボンジュール。太朗です。

最近、というか私の場合は年中家の掃除や整理をしています。断捨離などと数年前から叫ばれているようですが、あれはかなり深いものだなあと身にしみているこの頃。必要なもの、不必要なもの、必要だが頻繁には使わないもの、かなり溜まってしまうものです。特に書類、紙類は目を通すことを考えるだけで気がめげてしまいますね。

先日、もう腹を括ってイベントと考えて一気に色々処分しました。パッと見ではあまり変わりませんが、気分はかなりすっきりしました。貧乏性といいますか、まだ使えそうなものは捨てにくいです。もったいないと考えたり、何か罪悪感みたいなものが沸いてきます。ですが使わないで腐らせておくのは、捨てるのより罪が重いと考えれば、捨てる踏ん切りもつきますね。幸いアメリカにはGoodWill等の慈善団体が寄付として不用品を色々引き取ってくれるので幾分か楽ですね。日本で家のものを処分しようとしたとき、そういう団体が無いどころか、処分するのにもお金を取られると聞いて驚いたものです。

こういうごちゃごちゃの中から、本当に取っておきたい大切な思い出の一品などが出てくると、それだけでも苦労の甲斐があるんだなと感じますね。だから誰か変わりに片付けに来て下さい。

にわか映画談義 No.8

今月選んだのは映画ではありませんが、「ウルトラQ」です。

子供の頃の私は、アニメよりも特撮と格闘技を見るのが大好きでした。

中でも、ウルトラマンは再放送で毎週欠かさず見てましたね。

怪獣怪人大百科を持っていたので、当時はやたら詳しい子供でした。

そんな自分でしたがウルトラQは、全く未知の世界でした。というより、

ウルトラマンが出ないのに面白いのか、問題は解決するのか、と疑問を抱きながら

これまで目にすることはありませんでした。

そしてようやくhuluのおかげで、初めて見れました。これは怪獣ものというより様々な怪奇現象を取り扱った話です。昭和の白黒テレビ時代の安っぽさはありますが、これが結構怖い。怪獣はハリボテにしか見えない毒グモだったり、怪獣だけじゃなくただの巨大な人間が暴れてたりしますが、それがむしろリアルで夢に出そうです。

ウルトラマンとかが出てきて退治してくれるわけでもなく、未解決のまま終わることもあります。たいてい最後まですっきりしない話なんです。これを子供は楽しく見てたのだろうか・・・。

最近はCGで何でも出来てしまいますが、その時代にしか表現出来ない確立した世界観がいつの時代もあるんだろうなと感じました。

絵と文・渡辺 紳

深い圧のオイルマッサージの店
セラピースタジオ ハナ

先月号から広告を掲載している「セラピースタジオハナ」でオイルマッサージの施術を受けてきました。

まずはハーブティーを頂いてゆったり気分。体調や気分に合わせたオイルを選びます。何種類もあるオイルからブレンドしてもらい、マッサージに使用します。落ち着いたBGMと、程よく落とされた照明の部屋に案内されると、もうすっかりリラックス気分です。

予め相談していた首周りのコリや全身の痛みがある部分など、まさにフルオーダーでマッサージしていただきました。ホントはもっと詳しいレポートを書きたいところですが、あんまり気分が良かったのでところどころ（いや、ほとんど）寝てしまいました。ハナ先生、またおねがいしますね。

施術は予約制なので、まずは電話でコース・料金のご確認を。

東京都足立区加平 3-14-3
Tel.090-1763-3159